

環境への取り組みと社会との共生

神戸製鋼グループは、全ての生命体を育む健全な地球環境を次世代に引き継ぐことが私たちの使命であると認識し、「環境に配慮した生産活動」、「技術・製品・サービスでの環境への貢献」、「社会との共生・協調」を環境経営基本方針として定め、社会的責任を果たすとともに、企業価値向上に努めています。

■第6回 KOBELCO 森の童話大賞

次世代を担う子供たちに、様々な自然の恵みをもたらす森を大切にすることを目的とし、全国の小学生、中高生から「森」をテーマにしたおはなしを、毎年募集しています。

第6回となる2018年度は518件の応募をいただき、森 凜さんの「大スギの下のデン」(小学生の部)と、東田 美莉亜さんの「一本のカシの木」(中高生の部)が金賞を受賞しました。金賞作品はプロの絵本作家の挿絵で絵本化し、後援自治体所管の小学校・中学校・高校・特別支援学校・公立図書館等に、約2,000セット寄贈しました。

※詳細につきましては、当社ホームページの専用ページ
(<http://www.kobelco.co.jp/mori-ohanashi/>)をご覧ください。



第6回表彰式



第6回金賞作品絵本

■社会との共生

神戸製鋼グループは、未来を担う子供たちの成長をお手伝いするため、様々な活動を行なっています。2006年度に設立した「コベルコ地域社会貢献基金」では、神戸製鋼グループの事業所・研究所が立地する地域の子供たちを対象に、遊具や絵本、教材などを毎年寄贈しています。2018年度も、日本各地の神戸製鋼グループの複数の事業所や研究所が、地域の保育所への子供の健康や安全に配慮した遊具(木製ブロック)の寄贈や、地方自治体の子供向けイベントへの支援などを実施しました。

また、当社は、当社が支援しているNPO法人「SCIX(シックス)」が考案した球技「スペースボール」を、近隣の小学生に体験していただく際のお手伝いをしています。「スペースボール」は、子供たちの身体能力の

向上やチームプレーの習得に適した球技で、2018年度は12校(約1,200名)に体験していただきました。12校の皆様には、スペースボールの体験とあわせて、当社が運営している地域交流施設「灘浜サイエンススクエア」もご見学いただきました。神戸製鋼グループは、今後もこうした活動を継続し、社会との共生を図っていきます。



保育所へ木製ブロックを寄贈



スペースボールを体験する子供たち

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.kobelco.co.jp>

● KOBELCOの3つの約束

- ①信頼される技術、製品、サービスを提供します ②社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます ③たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します

● KOBELCOの6つの誓い

- 高い倫理観とプロ意識の徹底 私たちは、法令、社内ルール、社会規範を遵守することはもちろんのこと、高い倫理観とプロとしての誇りを持って、公正で健全な企業活動を行います。
- 優れた製品・サービスの提供による社会への貢献 私たちは、「品質憲章」に基づき、安全かつ安心で、優れた製品・サービスを提供し、お客様の満足と社会の発展に貢献します。

品質憲章	KOBELCOグループは、製品、サービスにおいて「信頼される品質」を提供するために法令、公的規格ならびにお客様と取り決めた仕様を遵守し、品質向上に向けてたゆまぬ努力を続けてまいります。
-------------	--
- 働きやすい職場環境の実現 私たちは、安全で安心して働くことができる職場環境を実現します。また、一人ひとりの人格・個性・多様性を互いに尊重し、それぞれが最大限の能力を発揮して生き生きと働ける職場環境を実現します。
- 地域社会との共生 私たちは、グループの基盤である地域社会に貢献するよう努めます。
- 環境への貢献 私たちは、より豊かで住みやすい社会づくりを目指して、環境に配慮した生産活動を行い、技術・製品・サービスで環境に貢献するよう努めます。
- ステークホルダーの尊重 私たちは、お客様、お取引先、社員、株主等を含む幅広いステークホルダーを仲間として尊重し、健全かつ良好な関係を築きます。